



チポロ

すがの ゆきむし
菅野雪虫作

こうだんしゃ
講談社

両親を亡くし、祖母と二人、貧しい暮らしを送る少年チポロ。そんなチポロを、いつも励ましてくれたのが幼なじみのイレシユでした。しかし、村が魔物たちに襲われ、チポロの抵抗がなしく、イレシユはさらわれてしまいます。三年後、村一番の弓の使い手となったチポロ。さいはての港に不思議な魔女がいるという噂を耳にします。その魔女が、自分がイレシユに教えた歌を口ずさんでいたと知り、一人旅立つのでした。アイヌの神話をモチーフに、人間の愚かさ少年の成長を描きます。

